

年収約503万円の  
家計に例えると…

5万人の台所事情

# 亀山家(市)の家計簿

令和3年度の一般会計決算を、約503万円の家計に例えてみました。  
市にはさまざまな種類の収入と支出があり、一般の家庭とは少し違った内容になっていますが、亀山家(市)の年間の家計簿をつくってみると…

収入		令和2年度からの増減	支出		令和2年度からの増減
現金収入合計	435万円	(-55万円)	生活費用合計	349万円	(-78万円)
給料(基本給)	207万円	(±0円)	食費	78万円	(-1万円)
▶ 市税、分担金および負担金			▶ 人件費		
給料(諸手当)	81万円	(+14万円)	医療費	101万円	(+26万円)
▶ 地方交付税、譲与税・交付金等			▶ 扶助費		
パート収入	16万円	(+5万円)	光熱水費などの雑費	99万円	(-95万円)
▶ 諸収入、使用料・手数料			▶ 物件費、補助費等		
親からの援助	131万円	(-74万円)	車などの修理代	13万円	(+1万円)
▶ 国庫支出金、県支出金			▶ 維持修繕費		
ローン(借入金)	46万円	(+8万円)	教育費	58万円	(-9万円)
▶ 市債			子どもへの仕送り	38万円	(+1万円)
貯金の取り崩し	12万円	(-4万円)	▶ 繰出金		
▶ 繰入金			ローンの返済	41万円	(+4万円)
繰越金	10万円	(+1万円)	▶ 公債費		
▶ 繰越金			家や庭の建築・改修	41万円	(+11万円)
			▶ 普通建設事業費、災害復旧事業費		
			貸付など	1万円	(±0円)
			▶ 貸付金、投資および出資金		
			貯金など	9万円	(+7万円)
			▶ 積立金、予備費		
収入合計	503万円	(-50万円)	支出合計	479万円	(-55万円)
			余り	24万円	(+5万円)
貯金額	149万円	(+8万円)	ローン残高	322万円	(+7万円)

## 令和3年度の家計は…

コロナ禍において生活スタイルが変化した中で、給料(基本給)やパート収入は増えましたが、昨年は多かった親からの援助が大きく減ったため、食費や光熱水費などの雑費を減らすことで支出を抑えたものの、医療費や老朽化に伴う家や庭の改修などにかかる支出が増えたこともあり、ローンによる借り入れを増やすことで家計をやりくりしました。

今後も新型コロナウイルス感染症の影響により、生活スタイルが変動するなど厳しい状況が続く中、引き続き節電や節水に努めるほか、その他の出費についても無駄がないか見直して家計のやりくりを努めます。また、ローンの借り入れや貯金の取り崩しを最小限にとどめるなど、家計の安定を図っていきます。



令和3年度つうしんば  
わかりやすい決算書

発行：亀山市 編集：政策部広報秘書課広報グループ  
〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地 TEL 0595-82-1111(代) FAX 0595-82-9955 ホームページ <https://www.city.kameyama.mie.jp>  
広報かめやまは、古紙パルプ配合率80%、白色度80%の再生紙および植物油インキを使用しています。